

千葉大学医学部附属病院で診療を受けた 多発性筋炎または皮膚筋炎患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025年11月27日

アレルギー・膠原病内科

アレルギー・膠原病内科では現在、「多発性筋炎・皮膚筋炎患者における治療内容と腎予後との関連解析」という研究を行っており、以下に示す方の診療情報を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象

- ・1984年1月1日から2023年12月31日の間に千葉大学医学部附属病院を受診し、18歳以上で多発性筋炎、皮膚筋炎、または成人発症スティル病と診断された方の情報

1. 研究課題名

「多発性筋炎・皮膚筋炎患者における治療内容と腎予後との関連解析」

2. 研究期間

2025年承認日～2028年12月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

多発性筋炎および皮膚筋炎は、筋肉や関節、肺、心筋などを障害する病気です。病気自体が腎臓を脅かすことは少なく、これらの患者さんの腎機能がどのような経過をたどるのかについてはこれまであまり注目されてきませんでした。本研究は、千葉大学医学部附属病院のカルテに蓄積された診療情報（薬剤使用歴、血液検査データなど）を用いて、多発性筋炎や皮膚筋炎の患者さんの長期的な腎機能の推移や、治療内容と腎機能の関連を調べることを目的としています。また、得られた結果が多発性筋炎や皮膚筋炎の患者さんに特有のものであるかを調べるため、成人発症スティル病患者さんを比較対照群としてデータ収集し、多発性筋炎や皮膚筋炎の患者さんのデータとの比較も行います。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている生年月、年齢、性別、診断名、治療薬の種類や治療を受けた日、血液・尿検査値など

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：アレルギー・膠原病内科 特任准教授 古田 俊介

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院アレルギー・膠原病内科および千葉大学医学部人工知能（AI）医学教室において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

7. 研究に関する相談窓口について

本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

アレルギー・膠原病内科 特任准教授 古田 俊介

043(222)7171 内線5531